

菊陽人 りさーち



うとよま かほ
宇藤山 香帆さん (9歳)
[下原]

- 趣味
算数が得意
- 将来の夢
看護師
- 自分を一言で表すと
いつも元気に遊んでる
- 自慢
縄跳びが得意

「菊陽人りさーち」に掲載を希望される人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡させていただきます。



いそざき ひかり
磯崎 光さん (8歳)
[大堀木]

- 趣味
体育のキックベースが好き
- 将来の夢
動物園の飼育員
- 自慢
足が速いこと
- 家族に伝えたいこと
ゲーム機が欲しい

ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば

子どもの目、子どもの声
人権
作文シリーズ
【No.30】

トトロのオムライスを囲んで生まれた家族の笑顔、勇気をもってあだ名を嫌だと言えたことで湧く安心、日常にこそ貴重な事柄が埋もれているようです。
*◇印は担任のコメントです。

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎232-2113

**ちよっと心が
すっきりしました**

菊陽中部小学校5年 橋本 千晴

「言ってよかった」

わたしは、三年から五年まであだ名で呼ばれてきました。三年生の時、最初に言われたときはそこまで気にしてなかったけど、後からいろいろな人から言われてだんだんいやになってきました。だから、あだ名で言われたら逆にわたしも言い返してしまいました。

自分の名前から言われるのかなとか、わたしの顔が似ているからかなとか考えると自分がだんだんいやになってきました。

一学期の人権月間で、いじめアンケートがとられました。私たちのクラスでは、「学校が楽しくない」という人が三人いました。その中の一人は私です。他の二人は、自分の思いをクラスの人に伝えていきなりました。でも、私はなかなかか言えませんでした。休み時間に勇

▲笑顔はそれぞれ

気を出してそっと先生に打ち明けました。先生は、「よく話してくれたね。今度は、みんなに話していこう。がんばれ」と言ってくれました。

私は、クラスのみんなの前で自分の気持ちを話しました。途中で涙が出て止まりませんでした。うまく話せませんでした。自分の気持ちを分かってくれる人がいっぱいいたので安心しました。話し合いの後で、「そんなに悩んでいるなんて思わなかった。ごめんね」と何人もの人があやまってくれました。

その後、学年の人権集会でも自分の思いを話していきなりました。この時もうまく話すことはできませんでしたが、みんな真剣に聞いてくれて、たくさんの方があやまってくれました。私は、自分の気持ちを言ってくれて、ちよっと心がすっきりしました。先生やお母さんにそうだしんよかったです。

◇ 千春さんはとても明るい女の子です。でも、ずっと一人で悩んでいることがありました。勇気を出して、みんなの前で、いやな事を話しました。みんなおどろきました。その思いをしっかりと受けとめることができました。

その後、千春さんのほんとうの笑顔を見ることができました。

おてつだいするよ!
さくら園 6歳 河野 雅



▲おてつだい

▲かわいい ピース

おばあちゃんが ばんごはんをつくるよ。いつも おてつだいするよ。わたしは たまごを まぜたりするよ。おばあちゃんがタマゴをわったら わたしがまぜるよ。オムライスをついたら トロトロして とてもおいしかったよ!

こんどは、カレーをつくってみたいよ。

◇ 大きくなったなら、コックさんになりたいというお料理大好きなみやびさん。おいしそうなオムライスを喜んで食べている姿が目に見えかんとくるようです。

仕事から帰ったお母さんも「とってもおいしい!」と言って食べてくれたそうです。

菊陽句会報

きくよう文芸

大西瓜はらから恋し広き緑	坂本百合子	炎昼を迷ひ道するビルの街	井上久美子
水打つて庭のしずもる虫の闇	田中 郁子	立秋の風にさざ波今朝の川	宮川ユキエ
夏休み体すり寄せ児のけんか	井 子文	朝採りの茄子の紫紺のまぶしかり	日高 妙子
それぞれに子等は帰りて夏終わる	財津 早雪	甲虫と同居始まる孫の夏	曾我 育代
亡き句友咲いていますか蓮の花	原野レイ子	歳重ぬごに苦瓜美味と知り	曾我トモ子
炎ゆれ仏来給ふよろこびて	力 幸子	句心を教はる師はも新盆に	紫藤 祥子
盆踊り在りし日の友いきいきと	寺尾千代子	深山路の観音堂の蟬時雨	村上 朋子
老犬に声かけ行くや日焼けの子	高橋 孝子	久びきに日矢射す庭よ梅雨明くる	野口 令史
盆婦嬢チャイルドシートが孫を待つ	堀川 妙子	妻も又故郷が好きラムネ好き	松橋 強
瓢箪を百まで数えまだあるぞ	佐藤 健	青瓢空つば尻に揺れ見する	佐藤 澄世
虫干しや姉の形見もその中に	吉野 早苗		

短歌会

笹竹に短冊吊るす子供らは退院したいと願いを託す
手袋をしてもオクラの収穫はかゆくなるなり夏の盛りは
励みたる農五十年妻の背のややくぐみ野を帰り来る
天上を覆ひて雨雲黒々といかづち鳴りて激しく雨降る
青田吹く風涼やかに夕暮れて秋立つ原に入道雲あり
友々と祭りの賞品揃え終えて明日の天気を気にしつつ帰る
真青なる空を見つめて我が心高く遠くに吸い込まれゆく
放置して弱りしと言う君子蘭に吾が水やりて新芽出で来ぬ
引き売りの豆腐屋のラッパ聞けぬ夕買ふわけでも無く通りに出でゆく

今村 貞子
梅田 國雄
河北 幸一
菊川あさみ
佐藤せい子
下田 久子
中村トシエ
森 敦子
山川 カヅ